

創薬基盤推進研究事業 研究開発課題
中間評価報告書

研究開発課題名	サブセットレベルで細胞標的化を可能とする脂質ナノ粒子技術の開発
代表機関名	国立大学法人北海道大学
研究開発代表者名	中村 孝司
全研究開発期間	令和3年度 ～ 令和7年度（予定）

1. 研究開発成果（公開用）

中間報告書（下URL）参照

<https://www.amed.go.jp/content/000120234.pdf>

2. 総合評価

- ・良い

【評価コメント】

項目により達成度にバラツキはあるものの、LNPに複数の抗体修飾を行うことにより、標的細胞への選択性向上を目指す挑戦的な課題において、解決方法を見出しながら着実に進展が図られ、特許出願していることは評価する。幾つかのシーズ対応の中で、シーズの目的に即した選択性が得られており、さらなる指向性向上を目指し、本技術の高度化、最適化を期待する。

実用化に向けて、抗体LNP製剤の大量製造方法の確立を行うとともに、品質に関わる評価や規格設定の方法、有効性と安全性の評価方法についての指針を明確化すること。課題間連携でのシーズ開発課題への対応も活かして、サブセット標的化技術の最適化を進め、シーズの目的に適した設計手法を構築すること。

以上